

新型コロナウイルス感染症対策に関する 当センターからのお願い

当センターでは感染予防対策の一環として、
発熱や風邪様の症状のある方の健康診断はお断りしております。

また、以下の症状（目安）に該当する方は、最寄りの保健所へ連絡し受診医療機関の相談をしていただきますようお願い致します。

- ・ 37.5℃ 以上の発熱がある。
- ・ だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- ・ せき、鼻水、喉の痛みなど風邪に似た症状がある。

【県内の新型コロナウイルスに関する相談窓口について】

- | | |
|----------------------|--------------|
| ・ 大分市保健所(大分市) | 097-536-2222 |
| ・ 東部保健所(別府市・杵築市・日出町) | 0977-67-2511 |
| ・ 国東保健部(国東市・姫島村) | 0978-72-1127 |
| ・ 中部保健所(臼杵市・津久見市) | 0972-62-9171 |
| ・ 由布保健部(由布市) | 097-582-0660 |
| ・ 南部保健所(佐伯市) | 0972-22-0562 |
| ・ 豊肥保健所(竹田市・豊後大野市) | 0974-22-0162 |
| ・ 西部保健所(日田市・九重町・玖珠町) | 0973-23-3133 |
| ・ 北部保健所(中津市・宇佐市) | 0979-22-2210 |
| ・ 豊後高田保健部(豊後高田市) | 0978-22-3165 |

また、入館する全ての方に対し、下記事項の厳守をお願い致します。

1. マスクの着用をお願いします。
2. 手洗い、手指消毒をお願いします。
3. 日常での検温・健康チェックをお願いします。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症に関するQ & A

内閣官房内閣広報室「新型コロナウイルス感染症に備えて」より引用・改変

■新型コロナウイルスとは？

これまでに、人に感染する「コロナウイルス」は、7種類見つかっており、その中の一つが、昨年12月以降に問題となっている、いわゆる「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」です。このうち、4種類のウイルスは、一般の風邪の原因の10～15%（流行期は35%）を占め、多くは軽症です。残りの2種類のウイルスは、2002年に発生した「重症急性呼吸器症候群（SARS）」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群（MERS）」です。コロナウイルスはあらゆる動物に感染しますが、種類の違う他の動物に感染することは稀（まれ）です。又、アルコール消毒（70%）などで感染力を失うことが知られています。

■どうやって感染するの？

現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられます。

（1）飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳（せき）、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。



（2）接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接接触しなくても感染します。



■新型コロナウイルスに感染しないようにするためには？

（1）手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

（2）普段の健康管理

普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきます。

（3）適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50～60%）を保ちます。

■ほかの人にうつさないためには？

<咳エチケット>

咳エチケットとは、感染症を他者に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。対面で人と人との距離が近い接触（互いに手を伸ばしたら届く距離でおおよそ2mとされています）が、一定時間以上、多くの人々との間で交わされる環境は、リスクが高いです。感染しやすい環境に行くことを避け、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。

■新型コロナウイルス感染症が疑われる症状は？

発熱などのかぜ症状について、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気による場合が圧倒的に多い状況です。風邪やインフルエンザ等の心配があるときには、これまでと同様に、かかりつけ医等にご相談ください。

新型コロナウイルスへの感染のご心配に限っては、最寄りの保健所などに設置される「帰国者・接触者相談センター」にお問い合わせください。特に、以下の条件に当てはまる方は、同センターにご相談ください。

- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- ・強いだるさ（倦怠感（けんたいかん））や息苦しさ（呼吸困難）がある場合 高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など））がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方
- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が2日程度続く場合 ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合